

# 春の叙勲受章おめでとうございます

## 旭日双光章

山口 洋平さん

(長崎市、71)



## 瑞宝單光章

岩佐 安郎さん

(調川・江口3、75)



## 瑞宝單光章

濱田 重男さん

(志佐・丹花、82)



平成3年1月に松浦市長に当選以来、平成11年1月まで2期8年にわたり、卓抜なる識見と豊富な経験をもつて市勢発展に貢献されました。

この間、教育の重要性を説き、青少年の国際的視野の拡大と国際感覚醸成のため、姉妹都市であるオーストラリア・マッカイ市への青少年使節団派遣の実施や教育文化活動の基盤づくりに尽力されました。

また、松浦市発展のため、福岡都市圏とを短時間で結ぶ西九州自動車道伊万里松浦道路建設への事業着手や、笛吹ダム建設に際しては、地権者をはじめ地域住民に対し説得を続けられ、用地交渉、地域振興等について日夜奔走されました。

昭和22年1月に調川村警防団に入団以来41年間、旺盛なる責任感を發揮して消防の任務遂行にまい進されました。

昭和55年に分団長に昇進され、昭和61年には当該分団を総括する本部分団長に就任。平成2年に副団長、さらに平成6年には団長に昇進されました。若手団員の指導育成に力を注ぎ、持てる力量を十分に發揮されその職責を完遂されました。

また、平成8年に発生した志佐町柚木川内免の山林火災の際には、地形的に困難な消火活動でしたが、団長として中継送水や、水利部署、注水部署など団員に對し適切な指揮を行い、被害を最小限に食い止められました。

昭和17年1月に志佐町警防団に入団以来38年間、旺盛なる責任感を發揮して消防の任務遂行にまい進されました。

昭和23年に班長、昭和32年に部長に就任、昭和44年には分団長に昇進され、つづいて昭和50年、志佐地区を総括する本部分団長に就任。昭和53年1月には副団長に就任。常に幹部としての自覚と誇りを持ち松浦市消防団の発展と団員の資質向上に多大な貢献をされました。

また、昭和47年7月に県下一円を襲った豪雨の際には、直ちに分団長として、昼夜を問わず災害箇所の復旧作業や警戒巡視等に奮闘され、被害を最小限に食い止められました。

市報まつうら5月号に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

○9<sup>ジ</sup> 「医師・各委員・推進員を紹介します」の山口加奈子先生の専門科目

(誤) 消火器内科 (正) 消化器内科

○11<sup>ジ</sup> 「嘱託員を紹介します」の農業嘱託員(今福・浜ノ脇)

(誤) 村上 昌一 (正) 村上 晶一

お詫びと  
訂正